

第16回

# 包装材料セミナー (オンライン配信)

## —新型コロナウイルス対応としてeコマースの伸長と包装容器—

日時：令和3年3月12日(金)

主催：公益社団法人日本包装技術協会

### 包装材料セミナーの参加申し込み方法について

JPIホームページ (URL : <https://www.jpi.or.jp>) より参加登録をお願いします。

Zoomを利用したオンラインセミナーとなります。

お申込みの方に、事前登録等の手続きをメールでご案内します。

### プログラム

時間	講演内容	講師
10:00 ▼ 11:10	<p>◆『コロナ禍と海外の最新パッケージング動向』</p> <p>COVID-19パンデミックによる世界の死亡者は12月末現在で160万人を超え、更に増え続けている。この間、製造業は長期的な優先事項を維持しながら、短期的な緊急ニーズを満たすという困難な課題に直面し、感染拡大の初期には生活必需品や医薬品の世界のサプライチェーンは大混乱した。漸く世界の産業界はこの前例のない新たな環境に対応しつつあるように見える。包装産業に関して言えば、パッケージは生活必需品や医薬品・消毒液・医療用品を保護し、消費者の安全・安心や公衆衛生に欠かせないものとしての認識が高まり、需要は拡大している。パッケージではないが、サージカルマスク、医療防護服などコロナ防護用途でもプラスチックの有用性が見直されている。食品ストアでは、ばら売りや量り売りされていたドライフードやコーヒー豆、青果物、パンが再び包装されるようになり、レジ袋も復活した。これらはコロナ禍における一時的現象であろうが、消費者の購買行動には明らかに変化が見られる。新たな日常では外食が減り、家庭での調理以外にもレストランやファーストフード店からのテイクアウトや宅配が増え、生活必需品のネット通販は消費者の社会生活に益々浸透していきだろう。また日本でも遅ればせながらデジタル庁が設置されるが、今回のサプライチェーンの混乱の経験から、海外ではパッケージングのDXへの対応力が企業の収益力に直結することが確認された。また消費財メーカーが2025年から2030年に目標達成を目指している持続可能なパッケージングへの移行は、更にその圧力が高まってこよう。海外の消費者、消費財メーカー、リテールチェーンが、“With Corona”の世界でどう動いていくのか、一緒に考えたい。</p>	<p>株式会社パッケージング・ストラテジー・ジャパン 取締役社長 森 泰正 氏</p>
11:20 ▼ 12:30	<p>◆「ラベルレスPETボトル飲料の今後について」</p> <p>生活者の環境意識の高まりを背景に、なるべく環境に配慮した商品を選びたいとのエシカル消費が徐々に高まっています。 アサヒ飲料は、持続可能な容器包装の取組、「容器包装2030」を制定し取り組んでおりますが、2019年より「アサヒ おいしい水」「アサヒ 十六茶」をはじめとした商品にPETボトルを包むフィルム状のラベルをなくした「アサヒ ラベルレス」シリーズの販売を開始し、順調に生活者の支持を広げられています。今回の講演では、ラベルがないPETボトル飲料の開発上の課題や生活者に支持されている理由などから、今後の「アサヒ ラベルレスシリーズ」の展望などについてご説明したい。</p>	<p>アサヒ飲料株式会社 マーケティング本部 マーケティング二部 お茶・水グループ グループリーダー 星野 浩孝 氏</p>
13:30 ▼ 14:40	<p>◆『機能性抗菌ニス「Rabコート」、機能性抗ウイルスニス「Rabコート VVV」』</p> <p>サカティンクス株式会社は、SDGsの取り組みを推進すると共に、人々の暮らしへの貢献と地球環境の負荷軽減に基づく持続可能な社会の実現に向けた事業を展開している。そのキーワードとして①安全安心、②便利快適、③健康維持、④低炭素社会、⑤サステナビリティの5つを掲げ、関連する機能を付加した新製品の開発に注力している。機能性抗菌ニス「Rabコート」、機能性抗ウイルスニス「Rabコート VVV」はこれらの項目を満たす新しい環境配慮型製品として注目されている。 本発表では、その背景、コンセプト、展開事例等を用いて、パッケージへの抗菌、抗ウイルス加工の意義を説明する。</p>	<p>サカティンクス株式会社 紙・パッケージ事業部 応用技術部長 高橋 亮太 氏</p>
14:50 ▼ 16:00	<p>◆『我々が実現したいサステナブルな取り組みについて』</p> <p>[1]消費財メーカー様との取り組みについて 店頭を通らないパッケージデザインの可能性 廃棄ゼロへの取組み事例</p> <p>[2]商品開発について EC業界に求められる物流にやさしいモノづくり パートナーシップ精神で実現する環境にやさしいモノづくり</p>	<p>アスクル株式会社 MD本部 バリュー・クリエーション・センター 統括部長 野中 勉 氏</p> <p>生活用品統括部 統括部長 阿部 竜士 氏</p> <p>LOHACO生活用品統括部 統括部長 平舘 孝浩 氏</p>

## 講師のご紹介

### 森 泰正(モリ ヤスマサ)氏

株式会社パッケージング・ストラテジー・ジャパン  
取締役社長

【ご略歴】

1972年～2009年 三井・デュポン ポリケミカル(株)勤務  
1988年～1990年 米国デュポン社 パッケージ事業部門に出向  
2009年～2017年 三井物産(株) パッケージング・シニアアドバイザー  
2015年1月 (株)パッケージング・ストラテジー・ジャパンを有田氏(現有  
田技術士事務所)より事業承継、現在に至る。  
海外の最新パッケージング情報を学び、日本のパッケージング技術との融  
合を目指す活動を行っている。

### 星野 浩孝(ホシノ ヒロタカ)氏

アサヒ飲料株式会社 マーケティング本部  
マーケティング二部 お茶・水グループ グループリーダー

【ご略歴】

2001年 中央大学法学部卒業。銀行系クレジットカード会社・食品メー  
カーを経て、2020年1月アサヒ飲料株式会社入社。  
同4月より現職。「十六茶」「アサヒおいしい水」「なだ万監修日本茶」をはじ  
めとする、無糖茶・ミネラルウォーター領域のマーケティングを統括。食品  
メーカー時代は、営業、家庭用調味料・業務用調味料のプロダクトマネー  
ジャー等に在事。

### 高橋 亮太(タカハシ リョウタ)氏

サカタインクス株式会社  
紙・パッケージ事業部 応用技術部長

【ご略歴】

1993年 サカタインクス株式会社入社  
段ボール用の水性フレキシソインキの開発、各種機能性コーティ  
ング剤の開発に従事  
2008年 研究開発本部 第二研究部 マネージャー  
2015年 包装事業部 応用技術部 部長  
2020年 紙・パッケージ事業部 応用技術部 部長

### 野中 勉(ノナカ ツトム)氏

アスクル株式会社  
MD本部バリュー・クリエイション・センター 統括部長

【ご略歴】

2002年10月 アスクル株式会社入社  
2013年8月 BtoBカンパニー ファニチャー事業本部 本部長  
2017年3月 BtoCカンパニー マーケットプレイス 事業部長  
2019年2月 BtoCカンパニー プロダクトディベロップメント 統括  
部長  
2020年3月 MD本部 バリュー・クリエイション・センター 統括部長  
(資格等)インテリアコーディネーター、二級建築士

### 阿部 竜士(アベ リュウジ)氏

アスクル株式会社  
MD本部 生活用品統括部 統括部長

【ご略歴】

2006年5月 アスクル株式会社入社  
2014年2月 BtoCカンパニー 飲料食品部長  
2016年3月 BtoCカンパニー FMCG事業部 部長  
2019年2月 BtoCカンパニー ビューティ事業部 MD部長  
2019年12月 BtoCカンパニー フード事業部 MD部長  
2020年3月 MD本部 生活用品統括部 統括部長

### 平舘 孝浩(ヒラタテ タカヒロ)氏

アスクル株式会社  
MD本部 LOHACO生活用品統括部 統括部長

【ご略歴】

2016年5月 アスクル株式会社入社  
2017年2月 BtoCカンパニー FMCGヘルスケア事業部 事業部長  
2020年2月 MD本部 LOHACO生活用品統括部 統括部長

## 包装材料セミナー企画委員

\*本催しは各企業から推薦された企画委員によりプログラムを編成しております

- 香川 幸子氏 凸版印刷(株) 生活・産業事業本部 ビジネスイノベーションセンター開発本部 第一開発部 課長
- 大橋 敬史氏 マースジャパンリミテッド アジア太平洋地域 研究開発部 パッケージマネージャー
- 永平 竜博氏 雪印メグミルク(株) ミルクサイエンス研究所 技術開発研究室
- 張 義宏氏 アサヒ飲料(株) 研究開発本部 技術研究所 容器包装グループグループリーダー
- 田井 伸二氏 (株)クラレ エバール事業部 品質・技術統括部長
- 芋田 大輔氏 東洋製罐(株) テクニカルセンター 基盤技術開発部 プラスチック素材開発グループグループリーダー
- 大葛 貴良氏 ユニチカ(株) 包装フィルム営業部 市場開発グループ グループ長
- 大平 祐歌氏 (株)明治 研究本部 技術研究所 次世代ものづくり研究部 包装技術G

## 開催要領

日時:令和3年3月12日(金)10:00～16:00

※Zoomを利用したオンラインセミナー形式

申込者に事前登録の手順をメールで連絡します

参加費:

1名分参加費	会員		
	会員	会員 (3名同時申込1名あたり)	一般
本体	15,000円	13,000円	20,000円
消費税10%	1,500円	1,300円	2,000円
税込合計	16,500円	14,300円	22,000円

定員:100名

## 参加申し込み方法と注意事項

- 本催しはZoomを利用したオンラインセミナーになります。  
申し込みは当会ホームページのセミナー参加申込ページより登録いただくようお願いします。  
申込者には後日「ウェビナー招待メール」をお送りします。登録の際メールアドレスの入力が間違っていると招待メールをお送り出来ませんのでご注意ください。
- お送りする「ウェビナー招待メール」にて、参加用URL、参加方法、参加までの手順、注意事項をお知らせしますので、確認の上参加の準備を進めて下さい。(登録後、参加手続きが必要ですのでご注意ください。)
- 申し込みされた方には後日参加料請求書をお送りします。
- 申込者1名のみ本催しに参加できます。1つのメールアドレスで1人しか参加できません。
- 開催3日前からのキャンセルによる参加費のご返金はできませんのでご注意ください。
- その他注意事項などにつきましては当会ホームページ上よりご確認の上、参加登録をお願い致します。

当会ホームページURL: <https://www.jpi.or.jp>

お問い合わせ先: 公益社団法人日本包装技術協会 包装材料セミナー係 担当: 竹内

〒104-0045 東京都中央区築地4-1-1 東劇ビル10F

TEL.03(3543)1189 FAX.03(3543)8970 e-mail:takeuchi@jpi.or.jp

## 【個人情報の取り扱いについて】

- 個人情報「第16回包装材料セミナー」の事業実施に関する資料等の作成、並びに当会が主催・実施する各事業におけるサービスの提供や事業のご案内のために利用させていただきます。なお、作成資料は、開催当日、関係者に限り配布する場合があります。
- 参加申込みによりご提供いただいた個人情報は、法令に基づく場合などを除き、第三者に開示・提供することはありません。